

ニホンテナガエビ

5対ある脚のうち前から2番目がとても長いことから、「手長エビ」と呼ばれています。

体長は10 cm程度まで成長し、体色は緑色を帯びた褐色です。胸の横に「m」字の模様があります。その他にも、ハサミには毛が多いことで、ミナミテナガエビと区別することができます。

主に河川の下流域から中流域のやや流れの緩やかなところに生息しています。

肉食性で、水生昆虫や小魚、動物の死体などを食べます。

繁殖期は春～夏です。孵化（ふか）した幼生は、汽水域（きすいいき）で降り、そこで生活し、変態後に河川を遡上（そじょう）します。

富士市での現状

全域の河川の下流から中流で、確認されました。



ニホンテナガエビを確認したメッシュ

